「みんなの家」を新たなコミュニティ形成の場に

熊本地震「みんなの家」利活用　プロジェクト

アートポリス事業の一環として、熊本地震の際、仮設住宅団地内に84棟整備された「みんなの家」。仮設団地の閉鎖に伴い、この「みんなの家」を新たなコミュニティ形成の場や地域づくりの拠点として、移築等により利活用する取組みが進んでいる。廃材を家具制作などに活用した4棟を含めて、84棟すべてが活用される予定。

被災した公民館の再建

「みんなの家」を移築活用して
被災した地区の公民館を再建し、
地域のコミュニティーの核となる場所を再生した。

袴野集会所［西原村］

田中公民館［益城町］

星田公民館［西原村］

府領公民館［甲佐町］

日向みんなの家［西原村］

茶屋の本公民館［御船町］

新たな防災施設の整備

防災教育を行ったり、
災害時に避難所としても活用できるコミュニティ施設や、
防災拠点における防災備蓄倉庫として活用された。

風当防災コミュニティ施設［西原村］

宮内防災センター［甲佐町］

古閑防災コミュニティ施設［西原村］

防災備蓄倉庫［南阿蘇村］

地域の新たな集会施設

集会施設のなかった地域や、災害公営住宅の建設などで
新しい地域のコミュニティが生まれた場所において、
交流の拠点となる新たな集会施設として活用された。

北早川公民館［甲佐町］

下砥川公民館［益城町］

ふれあい広場集会所［大津町］

市ノ後団地公民館［益城町］

岩坂地区集会所［大津町］

田原地区集会所［益城町］

緑が丘公民館［西原村］

寺迫公民館［益城町］

浄光寺公民館［御船町］

平田柳水集会所［益城町］

牛ケ瀬第２地区みんなの家［御船町］

内寺安心館［益城町］

新たな交流・にぎわい拠点の創出

熊本地震からの創造的復興を目指して、
地域の新たな交流センターや、観光の拠点となる施設、
にぎわいを創出するため施設、
震災の記憶を伝えるための施設などとして活用された。

ふれあい広場交流センター［御船町］

新阿蘇大橋展望所［南阿蘇村］

情報交流センター
体験学習施設［益城町］

潮井公園
震災遺構ガイダンス施設［益城町］

にぎわい拠点
シェアオフィス［益城町］

にぎわい拠点
コワーキングオフィス［益城町］

子育て支援や教育関係施設の整備

被災された方の生活再建の支援として、
保育所や学童保育などの子育て支援施設や、
学校内での交流施設として活用された。

菊陽南小学校放課後児童クラブ
［菊陽町］

七滝中央小学校放課後児童クラブ
［御船町］

益城中央小学校放課後児童クラブ
［益城町］

嘉島東小学校放課後児童クラブ
［嘉島町］

嘉島中学校コミュニティ施設
［嘉島町］

久木野放課後児童クラブ
［南阿蘇村］

つどいの広場サンサン［宇土市］

阿蘇医療センター保育施設［阿蘇市］

完成イベント　つどいの広場サンサン［宇土市］

宇土市の子育て支援施設「つどいの広場サンサン」では完成にあわせて、施設を利用される親子の参加によるワークショップが開催され、熊本県立大学佐藤研究室の協力により、6脚の幼児用椅子を製作した。

椅子には宇土市の市花であるアジサイがデザインされ、座面以外の木材は仮設住宅の廃材が活用されている。参加された子どもたちは初めて見る電動工具の音に驚きながらも、楽しそうに作業していた。

CHECK!
椅子の製作
ワークショップの
動画公開中